

# News Release

### ~ 子どもたちからの交通安全メッセージ ~

平成28年度IA共済交通安全ポスターコンクール 全国作品テーマ分析レポート

## 『ながらスマホ禁止』をテーマとした作品が4年連続でトップ

JA共済連が主催する「第45回 小・中学生交通安全ポスターコンクール」には、全国から16万3,130点の応募があり、各都道府県から選出された優秀作品348点について、全国コンクールの審査を行いました。本会では、平成16年度から、全国コンクール審査作品の交通安全ポスターに描かれたテーマを集計し、小・中学生が、今、どのような視点から交通安全を捉えているのかを分析しています。

本年度も、交通安全を考えるうえで、示唆に富む作品が多く寄せられたのでご報告します。

#### ■ 『ながらスマホ禁止』をテーマとする作品が4年連続でトップ(過去最高の構成比率)

本年度の全国コンクール審査作品を見ると、歩行中や運転中にスマートフォンを操作する『ながらスマホ』の危険性を指摘する作品が突出して多いという結果となりました。『ながらスマホ禁止』を呼びかけるポスターは本年度で4年連続トップとなりますが、前年度の構成比率を6.1ポイント上回る過去最高の21.8%を記録しています。

加えて、『ながらスマホ禁止』を訴える作品のうち、絵柄から訴求対象を分析すると、前年度は「歩行者」が34.5%、「自転車」が21.8%、「ドライバー」が36.4%、その他〔対象不明、又は複数〕が7.3%と交通に関わる様々な人々に注意を促していたのに対して、本年度は、「歩行者」が69.7%、「自転車」が6.6%、「ドライバー」が18.4%、その他が5.3%と"歩きスマホ禁止"にテーマが集中しています。

今夏、人気キャラクターのスマートフォン用ゲームが社会現象となった反面、その使用マナーが物議を醸し、様々な場所でスマートフォン使用時のマナー向上が



〔小4作品〕

呼びかけられました。本年度の交通安全ポスターはこうした社会の動きに子どもたちが敏感に反応した結果と言え そうです。

#### ■ 学年とともに変化する子どもたちの作品テーマ

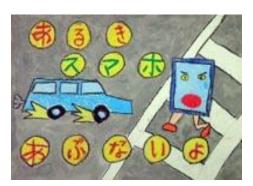
本年度の作品テーマを学年別にみると、小学1・2年生は『よく見て渡ろう』や『手をあげて渡ろう』といった基本的な交通ルールを呼びかける作品が多く、小学3・4年生になると『ヘルメットの着用』を促すものがトップのテーマとなっています。これは一人で自転車に乗る機会が増え、学校などでも繰り返し指導を受けるためと思われます。

また、小学5年生から中学2年生までは、『ながらスマホ禁止』を訴える作品がトップですが、中学3年生になると 『ながらスマホ禁止』を抑えて、大人に対して『飲酒運転禁止』を呼びかけるものが多いという結果となりました。

社会性の発達に伴い、子どもたちの作品の傾向は、"日頃から自分が注意されていること"から"社会や周囲に注意喚起するもの"へと変化していくことがわかります。

JA共済は今後とも交通安全ポスターコンクールを通じて、子どもたちの交通安全への想いを社会に伝えてまいります。

## ◇ "歩きスマホ禁止"を訴えるポスター[抜粋]



〔小1作品〕



〔小4作品〕



〔小5作品〕



〔中1作品〕



〔中1作品〕



〔中2作品〕

## ◇ その他の作品

前頁の通り、学年とともに子どもたちの作品は自分たちに身近な題材から、社会への訴求に変化しており、絵柄や構図だけでなく、テーマ選択も成長していることがうかがえます。



〔小1作品〕



〔小5作品〕



〔中 3 作品〕

# ≪交通安全ポスターコンクール 訴求テーマ第1位と社会の動き(過去10年間)≫

交通安全ポスターコンクール分析からは、子どもたちが、その時々の交通安全に関する旬のテーマに非常に敏感であることがわかります。子どもたちが指摘する"今、最もホットな交通安全の課題やテーマ"を参考にしながら、交通安全に努める必要があります。

年度	最も多かった訴求テーマ	社会の動き						
平成28年度	「ながらスマホ禁止」	本年7月、すでに世界中で話題となっていた子どもたちに大人気						
		のキャラクターを使用したスマートフォン用ゲームアプリの国内配						
		信が開始。ゲームの性質上、プレイヤーが画面を見ながら屋外を						
		歩きまわり、歩行者に衝突したり、転倒したり、負傷したりするケー						
		スが多発。各所で"歩きスマホ禁止"のキャンペーンが行われた。						
平成27年度	「ながらスマホ禁止」	"ながらスマホ"が社会問題として定着。警察、鉄道各社、携帯電						
		話各社等、様々な企業・団体が啓発活動を展開。NTTドコモ社						
		は、本年12月、YouTubeの「NTTドコモ公式チャンネル」に公開						
		した「歩きスマホ参勤交代/ Samurai Smartphone Parade」を						
		公開。そのユニークな啓発動画が話題となった。						
平成26年度	「ながらスマホ禁止」	前年度に引き続き、歩きながら、自転車に乗りながら等のスマート						
		フォン、携帯電話等による事故が相次ぐ。東京消防庁は『年々増						
		加傾向にある』とHP上で注意を促す(H26.3)						
平成25年度	「ながらスマホ禁止」	携帯画面を見ながら歩く、"歩きスマホ"を原因とした交通事故や						
平成20平及		ホーム転落事故が発生し社会問題化。						
	「安全運転」「思いやり運転」	暴走自動車が歩行者をはねる事故が多発。京都府亀岡市では乗						
平成24年度		用車が集団登校中の小学生の列に突っ込み10名が死傷する事						
		故が発生。						
平成23年度	「自転車マナー」	違法自転車「ピスト」による事故が急増。警察庁が「自転車総合対						
		策」を発表 (H23.10)						
平成22年度	「携帯電話の使用マナー」	スマートフォンがヒット商品に。「運転中の携帯電話使用」の摘発						
	「場帯电品の使用・)」	件数が増加。						
平成21年度	「自転車マナー」	健康志向・エコを背景とした自転車人気と自転車と歩行者の接触						
		事故増加。						
平成20年度	「後部座席のシートベルト着用」	後部座席シートベルト着用の義務化(H20.6 施行)						
平成19年度	「飲酒運転禁止」	福岡・飲酒運転死亡事故(H18.2)に端を発する飲酒運転関連事						
	「以但建松宗正」	故の社会問題化。						
平成18年度	「自転車マナー」	H8年からの10年間で自転車乗用中の死傷者数が1.23倍に増						
		加(平成18年中の交通事故発生状況「警察庁交通局」)。翌年、						
		『自転車安全利用五則』が制定される。						

# 【詳細データ】平成28年度(第45回)交通安全ポスターテーマ集計表

テーマ	小1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	合計	%
ながらスマホ禁止		4	5	7	8	13	14	16	8	76	21.8
よく見て渡ろう		6	2	2	2	2	3	2	2	31	8.9
ヘルメット着用		4	8	8	2	2	1	1	1	29	8.3
飲酒運転禁止		1	0	0	2	4	1	5	9	22	6.3
シートベルト・チャイルドシートの着用		5	2	3	4	3	3	2	0	22	6.3
手をあげて渡ろう	12	4	1	0	0	0	0	1	1	19	5.5
信号守ろう	3	5	2	1	2	2	2	1	0	18	5.2
安全運転(思いやり運転)	3	0	5	5	2	2	1	0	0	18	5.2
反射板・目立つ服の着用	0	0	1	3	2	2	3	2	2	15	4.3
交通ルールを守ろう	2	2	1	1	0	0	1	2	3	12	3.4
無灯火危険・早めのライト点灯	0	1	1	2	2	0	2	0	2	10	2.9
飛び出し禁止	1	1	2	1	2	0	0	2	0	9	2.6
自転車も車両	0	2	0	1	0	0	1	1	1	6	2.6
交差点・曲がり角に注意	0	0	2	0	2	0	1	1	0	6	1.7
傘さし運転禁止	0	0	1	0	0	2	2	0	0	5	1.7
一時停止を守ろう	0	0	0	1	1	1	0	0	2	5	1.4
雨の日(雪の日)は気をつけて	1	1	0	1	0	0	0	1	0	4	1.4
並列(歩行)走行禁止	0	0	1	0	1	0	1	1	0	4	1.1
走行(歩行)中のイヤホン禁止	0	0	0	0	0	0	2	0	1	3	0.9
点字ブロック上への駐車禁止	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3	0.9
その他	1	3	3	1	4	5	4	3	7	31	8.9
合計	36	39	37	37	38	38	43	41	39	348	100

学年別トップテーマ:

※構成比につきましては、表示単位未満を四捨五入して表示しています。